

自由と奉仕の1世紀

早大Y M C A寮「信愛学舎」

早稲田大学Y M C Aが運営する学生寮「信愛学舎」の一世紀に及ぶ歴史が注目されている。

中国人留学生の寄宿舎だった前史を持ち、キリスト教精神を土台にボランティア活動に取り組み伝統を受け継ぐ。就職活動の前倒しで大学生活がせわしなくなる中、課外活動や寮運営に自由に打ち込める自治寮の気風も残している。(橋本誠)

「何かやりたいと思えば、大概のことはできます。映画会や読書会をどんどん行っていきます」
早大Y M C A幹事長で二年生の遠藤愛明さん(26)が信愛学舎の魅力を語る。
O Bによると、ここにはもともと二十世紀初めにできた「中華留学生会館」があった。当時全国に建てられた中国出身者向けの寄宿舎で、一八八二年に開校した早大(当初は東京専門学校)の留学生を受け入れていた。辛亥革命で清が倒れて一九一二年に中華民国が成立すると、「中華民国留学生会館」に改称。後に中国共産党を創設する政治家となる李大釗も住み、オルガンを弾きながら賛美歌を歌っていたという。一方、早大Y M C Aの前



早大Y M C A信愛学舎と共同生活する学生ら＝東京都新宿区で

身の学生クリスチャン会は一八八七年に発足。一九一六年に中華民国留学生会館を譲り受け、信愛学舎を開設した。太平洋戦争中の空襲対策で取り壊されたが、戦後に再建された。
受け継がれているのが、キリスト教の奉仕の精神に基づく活動。伊勢湾台風(一九五九年)、インドネシア・ジャワ島中部地震

「全会一致」がルール／被災地支援の伝統

(二〇〇六年)、ミャンマーのサイクロン(〇八年)、東日本大震災(一一年)などの被災地に、学生やO Bが駆け付けた。

今年八月には大阪・金ヶ崎地区の路上生活者支援団体を訪ね、おにぎりを握って渡す炊き出しを体験した。「支援者は路上生活する人たちと同じ目線で接していた」と副寮長のフラハティ陸さん(30)。寮長の中島瞭生さん(26)は「再開発で生活する場所が狭まって排除される人たちに、何もされていないのはどうなのか」と感じたという。

一三年に早大Y M C Aが公益財団法人化され、三階建ての建物を改装。一四年から女性や他大学の学生も受け入れるようになった。現在の住人は男性八人、女性四人の計十二人。朝食は学生が交代で作り、毎朝そろって食べる。O B約三百人の寄付に支えられ、寮費は安く抑えている。
自治の要である寮生会議は、全会一致がルールだ。早大Y M C A評議員の伊藤

剛士さん(33)は「社会人になると、そんな会議はないし、学生も就活で受けが良い言葉をテクニクのように身に付けがち。じっくり相手の話を聞き、落としどころが見つかるまで言葉を重ねる場は多い」と話す。

就活の早期化だけでなく大学の課外活動の場も減っているため、最近では寮内で政治学などの自主ゼミを開いている。石戸充舎監(47)は「多様なサークルで生まれる自由や創造性が失われ、クラスへ通って単位を取る単線的な大学生活が多くなったが、混沌とした中でもがく経験を積んでこそ、新しい世界へ跳躍できる。そのため空間です。空き教室のような感覚で使ってほしいと話している。

早大Y M C Aは十一月四日午後二時から新宿区西早稲田二の三の一八のトーキョーコンサツ・ラボで、創立百二十周年を記念して千葉真・国際基督教大特任教授の講演会を開く。無料。信愛学舎 電03(3203)2858。

1111の追跡

宮城県地方税滞納整理機構が、国民健康保険税などを滞納した女性の銀行口座から約九万円の預金全額を差し押さえた措置に「違法徴収では」との疑念が広がっている。

いた。預金はすべて引き出され、残高は「0」。その隣には「差押え」と記され

組織で、宮城県では〇九年につくられた。現在、県と

んでこんなに追い詰めるの。滞納した人には何を